

グループ3へのコメント



・日本語で日本文化を教えるのはとてもいい試みですね。とても参考になりました。

・情報量が多くて、語彙の負担ごい みたんも大きいですが、授業がクラスの学習者のレベルに合っているなら、問題ないと思います。

・日本文化について、ただ講義を聞くだけでなく、スクリプトの一部を読んだり、映像を見たりして、少し体験しながら、日本語で学ぶのはとてもいいと思いました。



・このような「日本語で学ぶ日本文化」の講座を授業に取り入れても面白いと思います。シラバスが作れるといいですね。

・「NHK for school」のサイトを使うのはいいですね。導入部分でいきなり狂言を見せてもいいですが、学習者によっては、映像を見る前にワークショップを入れてもいいかもしれません。(例：グループに4コマ・ストーリー／内容を4つに分けたイラスト、を渡して順番を考えてもらう。そして、自分たちでストーリーを考えてもらう。その後で映像を見ると、分かりやすいと思います。

・狂言は特別な種類の芸能なので、全ての学習者が理解できるのは難しいと思います。



・狂言への理解を深めるために、日本の他の芸能や、ロシアの舞台芸術と比べてみてもいいと思います。

・狂言のスクリプトをどうするのか分からなかった。狂言のセリフは昔の言語なので、全部のスクリプトを配る必要はあるのか。

・狂言や内容について理解するのに、説明と質問で時間がかかってしまうのではないか。内容の面白さも感じられるように、理解にも時間をかけると、1回(1時間半)では難しいかもしれない。